

科学技術社会における 人文・社会科学的アプローチの重要性

2023年 **3月18日** (土) 13:30～15:30

オンライン配信 (zoomウェビナー) **参加無料**

日立財団が実施する研究助成金事業「倉田奨励金」人文・社会科学研究部門への
助成実績について検証するシンポジウムを開催いたします。

科学技術の発展の意味や価値、社会のあり方について、
皆で考えることを目的として、専門家による講演と意見交換を行います。

科学技術と社会の関わりに興味のある方、倉田奨励金の応募を検討されている方など、
多数のご参加をお待ちしています。



倉田奨励金とは

倉田奨励金は、日立製作所の第2代社長、故倉田主税が日本の科学技術の発展を願って設立を提唱し、資金を出捐したことにより1967年に創設された研究助成金です。自然科学・工学研究部門の3つの分野（エネルギー・環境、都市・交通、健康・医療）と、高度科学技術社会に通底する人文・社会科学研究部門の4つの部門、分野を対象とし、これまでに1,526名の研究者へ、総額約25億円の助成金を贈呈しました。

「倉田奨励金」人文・社会科学研究部門の概要

高度な科学技術に支えられ、効率的で便利な生活を手に入れた現代社会と、その一方で起こる環境問題や人口問題をはじめとするグローバルな規模での社会問題。今社会では、科学技術と社会を俯瞰的、構造的に捉えた人文知の重要性が再認識され始め、倫理的・社会的な取り組み、法制度など、人文・社会科学の視点や、人間性、社会システムといった観点によるアイデアが求められています。

このような社会の変化をうけ、日立財団では、2019年度から「高度科学技術社会に通底する人文・社会科学研究」に対する助成を開始しました。科学技術の進歩や活用に対する、倫理的インパクト、法的課題、政策課題、歴史的考察といった領域から、ユニークな視点、かつ社会的意義のある提案を採択し、2022年までの3年間で35名の研究者に対して助成しています。



倉田主税

科学技術社会における人文・社会科学的アプローチの重要性

参加無料

2023年3月18日(土)
13:30～15:30
オンライン配信

プログラム

13:30～

■ 理事長挨拶



公益財団法人 日立財団

理事長 内藤 理

13:35～

■ 基調講演

「科学技術社会における人文・社会科学的アプローチの重要性」



城山 英明 氏

東京大学 未来ビジョン研究センター長 教授
(倉田奨励金人文社会科学研究部門 選考委員)

14:05～

■ 研究発表

(倉田奨励金受領者)

発表1

諸富 徹 氏 京都大学大学院 経済学研究科 教授

「グローバル化とデジタル化がもたらす国際課税ルールの
変容にみる市場、国家、市民社会の将来像に関する研究」

発表2

佐藤 靖 氏 新潟大学 創生学部 教授

「現代科学技術の歴史的構造の我が国における様相の解明」

発表3

藤木 篤 氏 神戸市看護大学 看護学部 准教授

「遺伝子ドライブの倫理的・法的・社会的課題に関する
環境衛生倫理学的考察」

14:35～

■ パネルディスカッション

助成実績の検証と科学技術の発展の意味や価値、 社会のあり方について

モデレーター

城山 英明 氏 東京大学 未来ビジョン研究センター長 教授

パネリスト

<選考委員>

神里 達博 氏
千葉大学大学院 国際学術研究院 教授

鈴木 淳 氏
東京大学大学院 人文社会系研究科 教授

花木 啓祐 氏
東洋大学 情報連携学部 教授、東京大学名誉教授

<受領者代表>

佐藤 靖 氏
新潟大学 創生学部 教授

藤木 篤 氏
神戸市看護大学 看護学部 准教授

諸富 徹 氏
京都大学大学院 経済学研究科 教授 パネリスト (50音順)

15:25～

■ ご案内

倉田奨励金2023年度の募集について

第55回 倉田奨励金(2023年7月1日 募集開始)の応募要項について、事務局からご案内します。

●お申し込み方法:下記のサイトにアクセスの上お申し込みください。

<https://nsemi.seminarone.com/kurata-symposium2022/event>

※本講演会はオンライン開催とし、Zoomを使用します。参加にはパソコン、タブレット、スマートフォンなどの端末と、ネット環境が必要です。
※お申し込みいただいた方には、講演の開催前日までに、Zoomへの接続情報をご登録のアドレスに電子メールにてお送りします。

